



メディカルアイランドを目指す

地域の活性化に期待

九州各地の医療・健康をキーワードにした産業振興、地域活性化の取り組みが注目されている。九州大学で先端医療の拠点整備が進むほか、大分・宮崎両県でも医療機器産業の集積による地域活性化策が動きだした。2013年春には佐賀県鳥栖市にがん重粒子線治療施設が開業予定。国内外から療養者を受け入れる健康ツーリズムへの期待も高まる。将来のメディカルアイランドを目指して、新たな地域経済の起爆剤となる医療・健康産業について紹介する。

先端医療イノベーションセンター開設

教育研究施設が開所

技術開発、人材育成加速へ

九州大学はがんなどに対する先端医療の研究開発から臨床試験を、産学官で一貫して行う組織「先端医療イノベーションセンター」を10年10月に設置した。臨床研究を企業参加で推進し、治療を含む臨床試験の支援や人材育成などに取り組むのが狙いだ。

11年7月27日、九州大学病院（福岡市東区）内に同センターが入居する教育研究施設が開所した。同施設は6階建て、延べ床面積約5000平方メートル。整備費用は約21億円。技術開発と臨床研究を進める「プロダクト部門」と、医薬品や医療機器の実用化を加速する「臨床試験部門」、人材育成を行う「教育研修部門」、各部門を横断的に支援する「渉外企画部門」で構成する。

特にプロジェクト部門が研究するテーマは、人体への外科手術を最小限に抑える高精度インテリジェント検査・治療機器の開発や、薬剤の治療効果を高め、副作用を抑えるナノドラッグデリバリーシステムの開発など。

これまで臨床研究成果を日本発の医薬品・医療機器の実用化へ早期に結びつける研究拠点づくりが海外と比べて遅れていただけに、同センター設立に寄せる研究者らの期待は大きい。

大分・宮崎両県は、10年に医療機器産業の集積による東九州地域の活性化を目指す「東九州地域医療産業振興構想（東九州メディカルバレー構想）」を策定。両県で11年3月、同構想推進会議を設置した。

両県にまたがる同地域は従来、東九州自動車道など社会インフラ整備の遅れが課題とされる一方、人工腎臓や血液浄化機器などを生産する旭化成クラレメディカル（東京都千代田区）や旭化成メディカル（同）、川澄化学工業の拠点工場が多数立地している。この好環境を生かして血液、血管関連分野の研究開発や人材育成、高度医療、地場企業の同機器産業への新規参入を目指す。四つの取り組みを加速させるのが狙いだ。

人工透析や血液浄化に代表される血液、血管に関連する医療技術は、幅広い医療分野を支える世界トップクラスの技術といわれる。厚生労働省の09年事業工業生産動態統計年報によると、大分県の同機器生産金額は約1239億円。全国4位、宮崎県は約137億円。同22位。両県合わせて約1376億円になるという。

国内外からの療養者増に期待

九州国際重粒子線がん治療センター

13年春、鳥栖市に開業

一方、健康面を支える治療施設として期待が高まるのが、13年春に佐賀県鳥栖市に開業する「九州国際重粒子線がん治療センター」だ。

医療系地場企業が好調

先端医療産業集積を核に 関連ビジネスの創出も

先端医療産業の拠点形成の追い風に乘って成長する地場企業も出てきた。理学機器メーカーのアシテック（福岡県志免町）は10年、不妊治療で使われる受精卵培養装置の米国輸出に乗り出した。同装置は0.1度C単位の温度制御や、庫内を高湿度に保ちながら細菌の発生を抑える機構が特徴。日本の不妊治療技術とともに米国関係者にも同装置は知られており、需要が見込めると判断した。同社は「アシテック・シリコン（福岡市南区）は臨床検査受託事業を手がける。同社の強みは分析の速さだ。ほとんどの検査結果は回収翌朝にウェブ上で確認できる。検査報告書も翌営業日に届けるなど、他社にないサービス」。

九州の底力



11年度は研究者約100人の活動を見込む先端医療イノベーションセンター。X線やガンマ線治療に比べて副作用が少ない上に効果が2-3倍高く、通院回数も少なくて済むという。

九州新幹線新鳥栖駅前（鳥栖市）に立地し、遠方から利便性が高い。年間患者数は初年度200人。安定稼働した4年目以降は800人を想定しており、国内外からの療養者増に期待がかかる。

同時に先端がん研究拠点として、久留米大学医学部やバイオベンチャーが研究する「がんペプチドワクチン」の開発も注目。同事業は、福岡県が久留米市を中心に01年度からバイオテクノロジーを核にした新産業やベンチャーの創出、関連する企業や研究機関の集積を目指した「福岡バイオバレープロジェクト」の目玉事業の一つ。

同ワクチンは免疫療法の一種で、がん細胞の目印になる分子を個人レベルで特定。その目印を免疫細胞であるリンパ球が覚えてがん細胞を攻撃する仕組み。個人に合わせた治療を行うことができる「オーダーメイド医療」が特徴だ。ぼく（こ）がんと肝臓がんなどに対する臨床試験を実施し、09年4月には久留米大学部に全国初の「がんワクチン外来」も開設している。

現在、感染症対策強化の動きに合わせて、医療機関だけでなく行政からも検査依頼が増加。結核検査では、高精度の結核菌感染診断補助検査「クオンティフェロン・TBゴールド」のニーズが増えている。検査数は前年比30%増で、「九州でシェア9割を誇る」（同社）と勢いに乗る。

九州各地では、先端医療・同機器産業の集積を核に地域経済を活性化させる姿が見えてきた。ただ現在は研究拠点が先行し、それにかかわる健康関連ビジネスの創出が課題だ。今後九州各地の連携が進めば、先端医療と温泉など九州の地域資源を組み合わせた健康ツーリズムや、健康機器開発につながる関連ビジネスの創出が期待できる。

結核は過去の病気ではありません

24170

24,170人、1年間の新規登録結核患者数です。
(2009年結核発生動向調査の結果より)

第3世代の結核菌感染診断補助検査 結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン-γ (保険点数600点)

クオンティフェロン®TBゴールド

ツベルクリン反応検査は再診の必要があるのに対し、QFTゴールドは再診の必要がなく、受診者にも負担の少ない検査です。

検査対象および目的

- 結核の集団感染
- 活動性結核の診断補助
- 医療・介護職員および学生等の定期健診
- 初感染結核の診断補助
- 感染性結核患者との接触者
- その他定期外健診



CRCグループ

【総合インフォメーション】 TEL 092-623-2111

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29-18 <http://www.crc-group.co.jp/>

- シー・アール・シー
- 臨床病態医学研究所
- 西日本健康
- シー・アール・シー食品環境衛生研究所
- シー・アール・シー・サービス
- 臨床検査・遺伝子解析・健康診断支援・医療廃棄物収集運搬
- 病理組織検査・細胞診検査
- ホルター心電図解析・骨密度検査・SAS検査
- 食品検査・水質検査・大気検査・環境検査
- 医療機器・臨床試験・医療用消耗品・損害保険・生命保険
- 九州ホスピタルサービス
- CRCサポート
- CRC7アド
- 大連医科大学日中臨床病理中心
- 臨床検査検体搬送
- 人材派遣業務
- 広告代理店・転写印刷・レーザー彫刻
- 病理組織検査・細胞診検査

明日の資源を考える

KOEI TECHNO SYSTEM

光栄テクノシステム

創業65年を迎え、私たちは
さらなる技術革新への挑戦を続けます。

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私共、光栄テクノシステム株式会社はお陰様で昭和21年の創立以来、65年を迎えました。近頃は「もったいない」という言葉を聞く事が少なくなりました。私たちは、もったいないという心で『物を大切にすること』を会社の理念としています。そして『物の命を長くすること』『物の機能を活かす』ことを考え省資源、省エネルギーによる高効率、高付加価値を生み出すことに努めています。

私たちは、いつもお客様のニーズにお応えできるように、迅速・確実・丁寧をモットーに研究開発から設計、製作、アフターサービスまで一貫体制で努めています。当社は機械の「病院」です。お気軽にいつでもご相談ください。

光栄テクノシステム株式会社 代表取締役社長 安武良祐

業務内容

1. 溶射加工

- 高速フレイム溶射、プラズマ溶射、溶線式フレイム溶射、粉末式フレイム溶射、アーク溶射を用いた各種金属、セラミックス、サーメット、樹脂溶射
- 耐摩耗皮膜マグコート加工

2. エンジンの再生と修理

- シリンダーヘッドの修理 ● クランクシャフトの修理
- シリンダーブロックの修理 ● その他シリンダー・ロッドの修理

3. 粉末・溶接棒

- 溶射用、粉末冶金用、その他粉末製造
- WC系・TiC系溶接棒の製造

4. 切削・研削加工

- 円筒、クランク軸、内径、平面などの精密研削加工
- 旋盤、フライス盤、ボール盤などによる機械加工

5. その他の事業

- 動バランス調整 ● 溶接加工
- フッ素樹脂加工 ● 品質評価・研究開発・材質調査



光栄テクノシステム株式会社

本社：工場：〒813-0062 福岡市東区松島6丁目15-30
Tel.092-611-6825 Fax.092-621-1183

URL <http://www.koei-ts.co.jp/>